

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【公開番号】特開2008-104531(P2008-104531A)

【公開日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【年通号数】公開・登録公報2008-018

【出願番号】特願2006-288104(P2006-288104)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月23日(2009.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の前面に形成され、発射手段から発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域に設けられた始動口と、該始動口に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御するか否かを判定する利益付与判定手段と、該利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報の可変表示を開始して所定期間経過後に所定の表示結果を導出表示可能な演出表示装置と、を備え、前記利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記演出表示装置に特定の表示結果を導出表示する遊技機であって、

前記遊技領域に配設され、遊技球の受け入れが可能な開放状態と遊技球を受け入れが困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口開閉装置と、

該大入賞口開閉装置に受け入れられた遊技球を検出する大入賞口内検出手段と、

前記大入賞口開閉装置内に視認可能に設けられ、該大入賞口開閉装置内に進入した遊技球を転動させる演出領域と、

該演出領域に設けられ、遊技球の受け入れが可能な特別受入口と、

該特別受入口に受け入れられた遊技球を検出する特別受入検出手段と、

前記大入賞口開閉装置内に進入した遊技球を前記演出領域の所定位置に誘導し、該誘導された遊技球の前記特別受入口への進入し易さが異なる複数の誘導手段と、

前記大入賞口開閉装置内に進入した遊技球を前記複数の誘導手段のいずれかに振分ける振分手段と、

前記大入賞口開閉装置を開閉制御する処理を複数回繰り返し実行することにより前記利益付与状態の制御を行う利益付与状態制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定される確率が通常よりも高い高確率状態に制御する高確率制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御する判定がなされた場合に、当該利益付与状態に制御した後に前記高確率制御手段によって前記高確率状態に制御する第 1 利益付与状態と、前記利益付与状態に制御した後に前記高確率状態制御手段によって前記高確率状態に制御しない第 2 利益付与状態と、のいずれかに決定する利益価値決定手段と、

前記演出表示装置を表示制御する表示制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定されたときに、前記表示制御手段により前記演出表示装置にて特定演出表示を実行するか否かを判定する演出実行判定手段と、を備え、

前記演出領域は、前記特別受入口への遊技球の入球の有無がその転動態様によって左右される遊技球転動機構を備え、

前記振分手段は、前記利益価値決定手段によって前記第1利益付与状態に決定されたときに、前記第2利益付与状態に決定されたときよりも高い割合で前記複数の誘導手段の中から前記特別受入口へ進入し易い誘導手段へ振分け、

前記表示制御手段は、前記演出実行判定手段によって前記特定演出表示を実行すると判定されたとき、前記特別受入検出手段によって所定期間内に遊技球を検出したことを条件に前記特定演出表示を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記表示制御手段は、前記演出実行判定手段によって前記特定演出表示を実行すると判定されたとき、前記特別受入検出手段によって前記所定期間内に遊技球を検出しなかった場合には、前記特定演出表示とは異なる第1非特定演出表示を実行することを特徴とする請求項1記載の遊技機。

【請求項3】

前記表示制御手段は、前記演出実行判定手段によって前記特定演出表示を実行すると判定されたとき、前記大入賞口内検出手段によって前記所定期間内に遊技球を検出しなかった場合には、前記特定演出表示とは異なる第2非特定演出表示を実行することを特徴とする請求項1または請求項2に記載の遊技機。